

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [ 事後評価 ]

会計	款	項	目	事業J-T*	事業名
一般	02	01	06	0403	振興センター等整備事業

事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	<input type="checkbox"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------------------------------	-----------------

《事業目的》

振興センター等の利便性、安全性の向上

《事業開始の背景》

平成19年度より概ね小学校区単位を基本に市内27か所の振興センターを設置しているが、それまで公民館や地域の集会施設、小学校などとして使用されていた建物であり、建築後の経過年数もかなり経過していることから、計画的に建て替えや修繕などを行う必要があったもの。

《事業概要》

- 花北振興センター 外構工事、解体工事、監理業務委託等 49,265千円
- 湯本振興センター 駐車場用地取得 5,000千円
- 谷内振興センター 基本設計業務委託、体育館耐震診断 6,164千円
- 花南振興センター等 耐震診断調査業務委託（9振興センター） 15,233千円
- 旧まん福（中央振興センター移転候補地） 用地取得、改修工事、設計・監理業務委託等 88,717千円

市民参画の有無 [ 対象外 ]

《事業展開の留意事項》

《成果指標》

項目	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 振興センター利用件数	件	目標	14,800	14,800	
		実績	15,831	15,127	
② 振興センター利用人数	人	目標	290,000	290,000	
		実績	297,452	276,072	
③ 証明書等申請件数	件	目標	5,000	5,000	
		実績	4,000	3,658	

分野	担当部(機関)	担当課(機関)	担当係長	(内線)
地域づくり	総合政策部	地域づくり課	似内一弘	454

		25年度	当初(現計)	補正	25年度	26年度
事業費		165,671				
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	165,671				

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること

振興センター等整備実績				
	建築	H24	H25	H26
花北	H24	建築工事 265,589	解体・外構 49,265	
花巻中央	S46		土地取得・改修 88,717	
湯本	S49		駐車場土地 5,000	
谷内	S47		基本設計等 6,164	実施設計等
矢沢	S51	トイレ・床改修 5,810		
成島	S59	駐車場整備 10,500		
その他			1,292	
耐震診断			9施設 15,233	
計		281,899	165,671	

振興センター等整備事業(総括表)

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [ 事後評価 ]

会計	款	項	目	事業J-T	事業名
一般	02	01	06	0403	振興センター等整備事業

総合計画	政策	都市内分権構築で市民参画・協働のまちづくり	施策	小さな市役所構想と協働の推進
	5		5-1	
目的	振興センター等の利便性、安全性の向上			
対象	整備が必要な振興センターが位置するコミュニティ地区住民			
意図	より身近で快適な生涯学習環境のほか、憩いや交流の場として整備することによって、地域づくり活動が活発になる。			

《事業概要》…上記目的を実現するための事業手法を記載すること

- 花北振興センター 外構工事、解体工事、監理業務委託等 49,265千円
- 湯本振興センター 駐車場用地取得 5,000千円
- 谷内振興センター 基本設計業務委託、体育館耐震診断 6,164千円
- 花南振興センター等 耐震診断調査業務委託（9振興センター） 15,233千円
- 旧まん福（中央振興センター移転候補地） 用地取得、改修工事、設計・監理業務委託等 88,717千円

市民参画の有無 [ 対象外 ]	市民協働の形態	<input type="checkbox"/> 共催	<input type="checkbox"/> 実行委員会・協議会	<input checked="" type="checkbox"/> 事業協力・協定
		<input type="checkbox"/> 後援・協賛	<input type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> 委託

活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	年度(計画)
① 施設整備センター数	件	計画	8	9	
		実績	8	3	
②		計画			
		実績			
③		計画			
		実績			
成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	年度(計画)
① 振興センター利用件数	件	目標	14,800	14,800	
		実績	15,831	15,127	
② 振興センター利用人数	人	目標	290,000	290,000	
		実績	297,452	276,072	
③ 証明書等申請件数	件	目標	5,000	5,000	
		実績	4,000	3,658	

要因分析	達成度	<input type="checkbox"/> 目標値より高い	<input type="checkbox"/> 概ね目標値どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 目標値より低い
------	-----	----------------------------------	-----------------------------------	---

《環境変化、意見・要望》…環境変化はないか？ 意見や要望が寄せられていないか？

市議会において旧まん福活用の陳情がなされ、趣旨採択されたことに伴い。用地の取得及び所要の整備を行ったところだが、地元から中央振興センターの移転は希望しないとの話があった。

目的妥当性	公共関与の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	市が設置、管理している施設であり、市が整備を行う必要がある。
有効性	成果の向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	設計に際しては利用者の意見を聞き、取り入れるべき意見を反映させることにより、市民によりよい憩いの場とする。指定管理者である地域コミュニティ会議による利用率向上のための事業実施を誘導する。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	施設の経年劣化とともに施設整備費が増大するため、削減の余地はない。人件費についても最小限の業務時間であり、削減余地はない。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 適正である	施設の老朽度危険度等を総合的に判断し、市全体で整備順序を定めることとし公平性を確保する。施設の利用料については随時見直しを行うこととする

《総合評価》…上記評価結果の総括

平成25年度においては、旧まん福を中央振興センターとして移転整備することとして、用地取得および所要の整備を行った。しかしながら、集会施設として旧まん福を活用するためには、さらに相当な経費がかかること、及び中央地区コミュニティ会議でも振興センターとしての活用を望んでいないことなどから、あらためて活用について検討を行う必要がある。花北振興センターの解体・外構整備、谷内振興センターの建て替えのための基本設計を行った。9振興センターの耐震診断では、耐震性能に問題がある振興センターはなかった。